

令和 5 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2023 年 10 月 19 日

学 長 殿

所属部局・職名 教育推進機構・特任准教授

申請者名 鈴木 あい

助成の区分 (該当するものに○)	学会参加助成・学術出版助成・ <u>学術論文掲載料等助成</u>
事業名	学術論文掲載料等助成（英文校正費）
成果の概要	<p>本論文“Analysing the Levels of Fear of Crime Before and After the Implementation of Security Box: a Community Policing Case Study in Chiba Prefecture, Japan”では、千葉県にて実施されている「防犯ボックス」事業を取り上げた。具体的には、千葉市星久喜地区と市川市南大野地区において、防犯ボックスの導入前、導入直後、導入数年後に実施された3波の住民調査をもとに、防犯ボックスが住民の犯罪不安に与える影響の経時変化について分析を行った。分析の結果、防犯ボックスが住民の犯罪不安を減少させる効果について、実証的な裏付けを得ることはできなかった。しかしながら、回答者の多くは、防犯ボックスが近隣の安全や犯罪抑止における効果を期待していることから、今後、防犯ボックスが住民の犯罪不安に与える影響について、長期的に検討する必要があることを提起した。</p> <p>本論文が掲載された“Asian Journal of Criminology”は、Scopus掲載の国際誌である。第一著者である論文がScopus掲載誌に採択されることは、若手研究者として、今後の研究者としてのキャリアを考えていくうえで、非常に大きな意味を成すものである。今後も、国際誌に積極的に論文を投稿していくことで、自身の研究の成果について、日本国内のみならず、海外の研究者からのフィードバックを得ていきたいと考える。</p>